

# 「今、何の病気が流行しているか！」

## (川崎市感染症発生動向調査事業—令和4年第51週)の情報提供について

市内の定点医療機関から提供された感染症の患者発生情報をもとに市民提供情報である「今、何の病気が流行しているか！（令和4年第51週）」を作成しましたのでお知らせします。

令和4年第51週（令和4年12月19日から令和4年12月25日まで）

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）感染性胃腸炎 2）インフルエンザ 3）A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.78人と前週（7.86人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.23人と前週（1.64人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.32人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。

今週のトピックス

“年末年始はインフルエンザにも注意しましょう”について取り上げました。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第51週（12月19日～25日）に11693件と、依然として多い状況です。また、インフルエンザの定点当たり報告数が4.23人と前週から増加しており、今後の感染拡大に注意が必要です。

インフルエンザであっても基本的な感染対策は同じです。手指衛生や換気、人混みでのマスクの着用等に加え、特に年末年始は大人数での集まりを控えることも重要です。また、少しでも体調がすぐれない場合は、自宅でゆっくりお過ごしください。

川崎市感染症発生動向調査事業では、感染症のまん延の防止と市民の健康の保持に寄与するべく、市内の定点医療機関（小児科定点37施設、インフルエンザ定点61施設、眼科定点9施設、基幹定点2施設）等から報告された感染症発生状況をもとに集計を行い、市内の感染症の発生状況の正確な把握と分析、市民や医療関係者への情報の提供を行っています。

連絡先 川崎市健康福祉局保健医療政策部感染症対策担当 野木  
電話044（200）2446  
川崎市健康安全研究所 三崎  
電話044（276）8250

# 今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

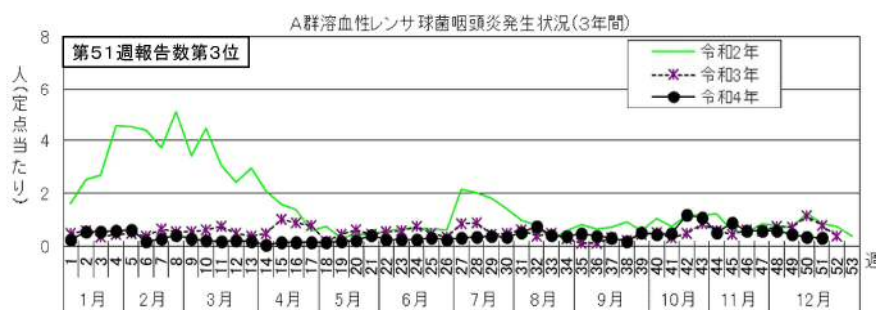
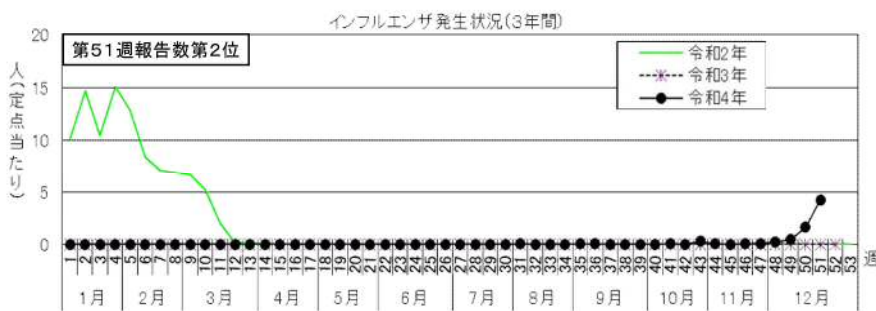
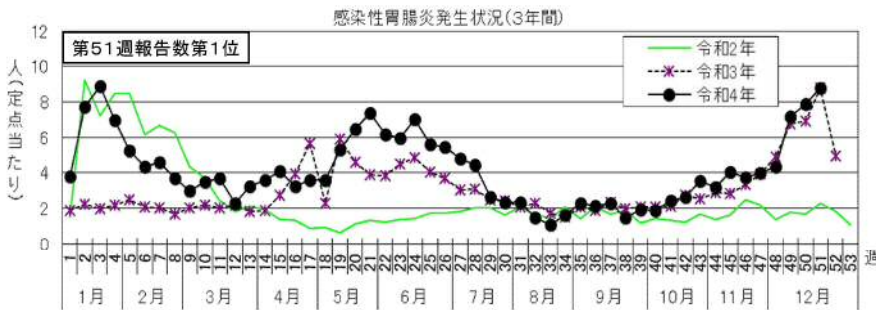
令和4年12月19日（月）～令和4年12月25日（日）〔令和4年第51週〕の感染症発生状況

第51週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は8.78人と前週（7.86人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

インフルエンザの定点当たり患者報告数は4.23人と前週（1.64人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり患者報告数は0.32人と前週（0.35人）から横ばいで、例年より低いレベルで推移しています。



## 年末年始はインフルエンザにも注意しましょう

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数は、令和4年第51週（12月19日～25日）に11693件と、依然として多い状況です。また、インフルエンザの定点当たり報告数が4.23人と前週から増加しており、今後の感染拡大に注意が必要です。

インフルエンザであっても基本的な感染対策は同じです。手指衛生や換気、人混みでのマスクの着用等に加え、特に年末年始は大人数での集まりを控えることも重要です。また、少しでも体調がすぐれない場合は、自宅でゆっくりお過ごしください。

### 年末年始の感染対策

軽い咳やのどの痛み等、体調がすぐれない場合は人との接触や外出を控える。

人が集まる場所では定期的に換気を実施



大人数での集まりは控え、人混みや乗り物の中ではマスクを着用

